

29. 胸壁浸潤型肺癌に対する温熱併用放射線療法の初期経験

群馬大学医学部放射線医学教室

桜井英幸, 早川和重, 三橋紀夫
中山優子, 黒崎弘正, 那須佐知子
石川 仁, 山川通隆, 長谷川正俊
秋元哲夫, 新部英男

骨浸潤を有する胸壁浸潤型非小細胞肺癌に対する温熱併用放射線療法の初期成績について報告する。対象は温熱併用放射線療法を行った13例で、過去の放射線単独例13例と比較検討した。放射線療法の総線量は60~70Gyで、温熱療法は照射期間中2~4回行った。治療後の2年粗生存率は温熱群44.4%、照射単独群15.4%、2年局所非再発生存率は温熱群76.1%、照射単独群16.9%であった。温熱の併用により、肺合併症は増加しなかった。胸壁浸潤型非小細胞肺癌に対し温熱併用放射線療法は、局所制御率の向上に寄与する可能性が示唆された。